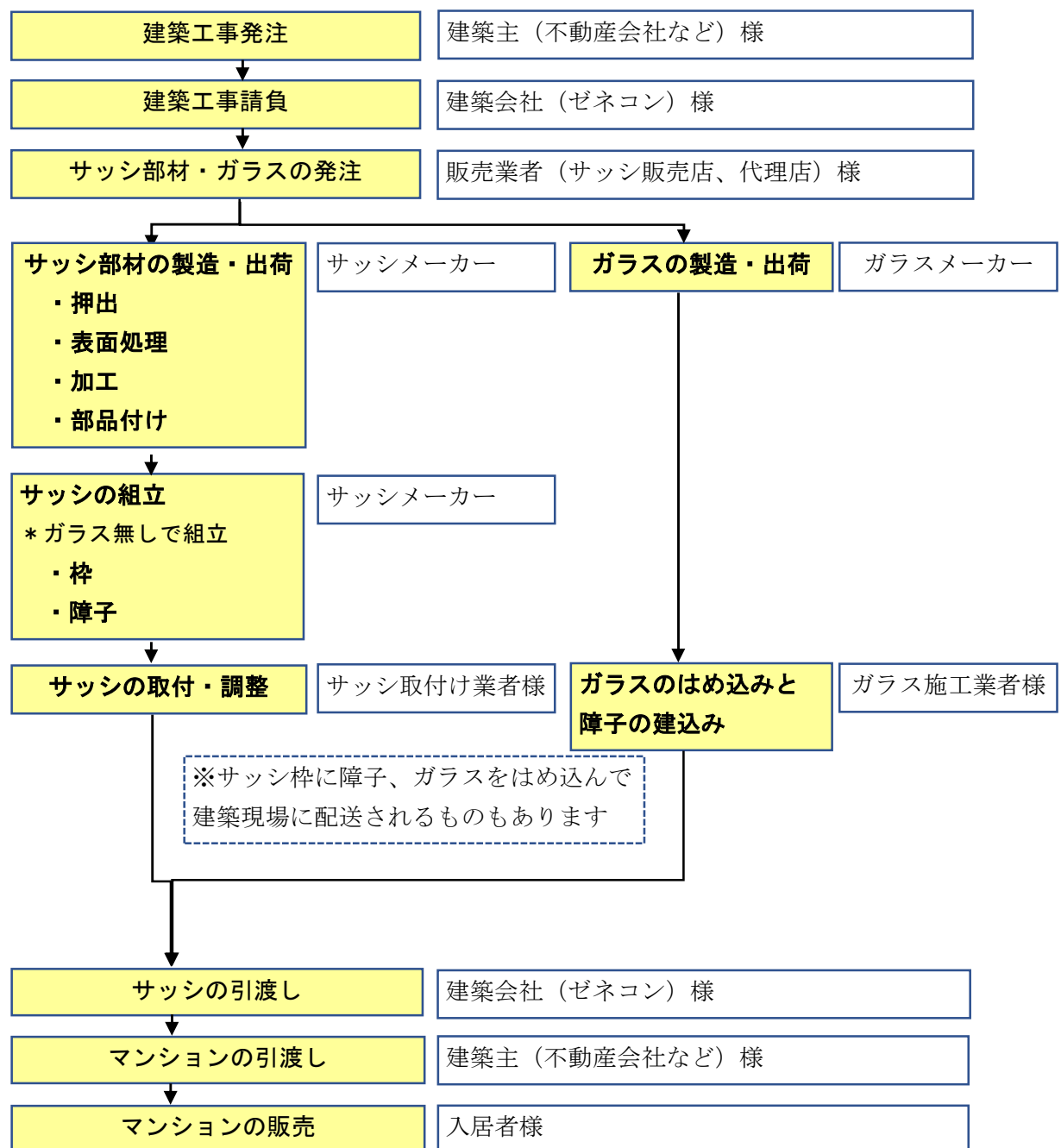


4.（2）マンション用サッシが取り付けられるまで

一般的にマンション用のサッシは、サッシメーカーの工場ではガラスをはめ込まない状態でサッシ枠、障子を組み立て、建築現場へ配送されます。建築現場ではガラス工事業者様がサッシにガラスをはめ込みサッシを完成させます。サッシ枠に障子、ガラスをはめ込んで建築現場に配送されるものもあります。

ここではガラスをはめ込まない状態で建築現場に配送される流れをご紹介します。

<マンション用サッシの製造から取付までの流れ>



<押出>

押出工程では、円柱のアルミ合金の塊（「ビレット」といいます）を約500度に加熱し、押出機を用いて強い圧力を加えてアルミサッシの断面形状の金型（図2）から押出して、細長い押出型材を作ります。一本のビレットから数十メートルの押出型材が押出されます。

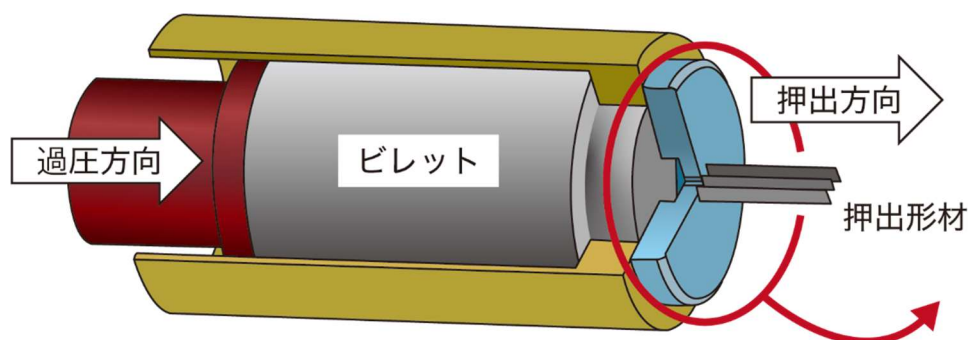


図1. 押出加工

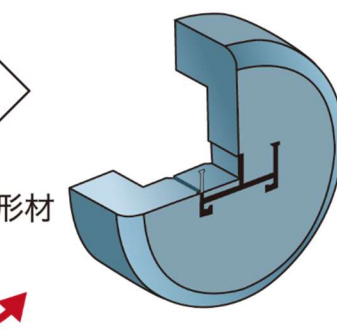


図2. 押出金型の例

数十メートルの押出型材は5メートルから6メートル程に切断され、必要な強度にするために熱処理が施され、次の表面処理工程に運ばれます。

<表面処理>

表面処理工程では、押出型材の表面に陽極酸化皮膜（一般にアルマイトと呼ばれています）を形成し、更に電気分解によりブロンズやブラックなどに着色した上で透明な樹脂塗料を電着塗装し、耐食性、耐摩耗性のある表面に仕上げます。透明以外にもホワイトやグレーなどの色のついた塗膜もあります。

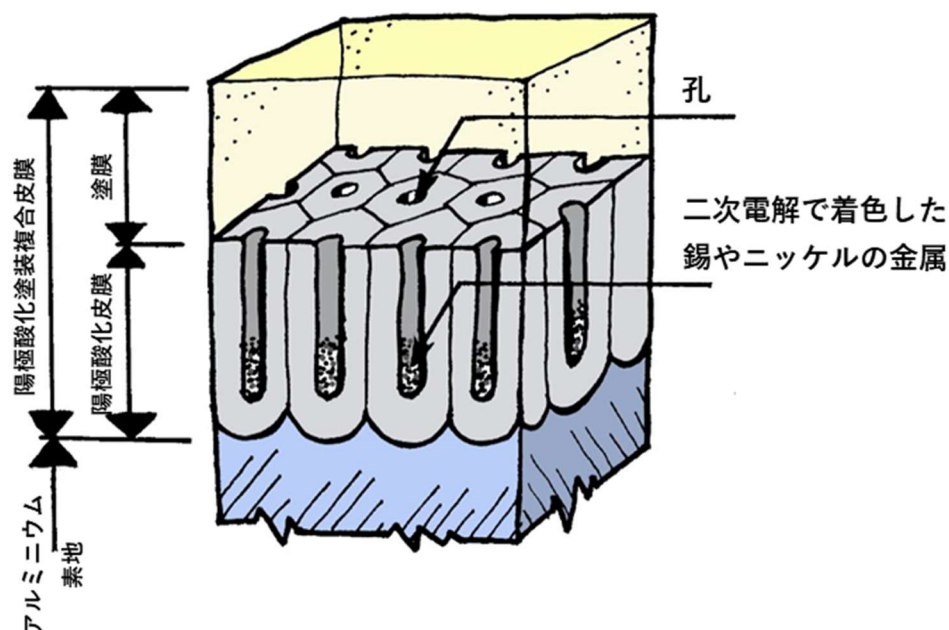


図3. アルミサッシの型材表面拡大図

<加工>

加工工程では、表面処理された押出型材を製品寸法に合わせて切断し、部材に必要な切り欠き、穴あけなどの加工を行います。

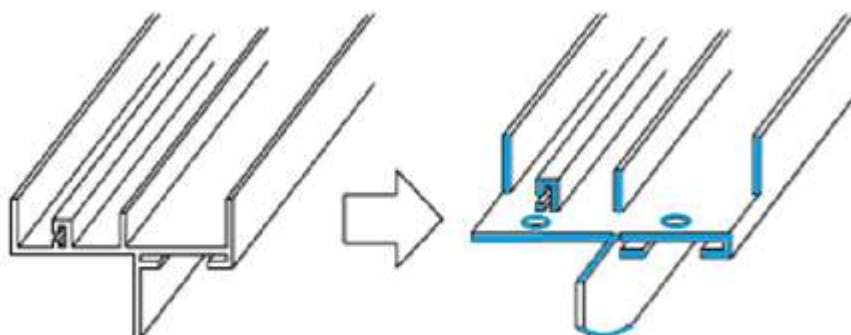


図 4．アルミサッシの加工例

<部品付け>

部品付け工程では、加工された部材に風止め板、戸車、クレセント（錠）などの部品を取り付けます。

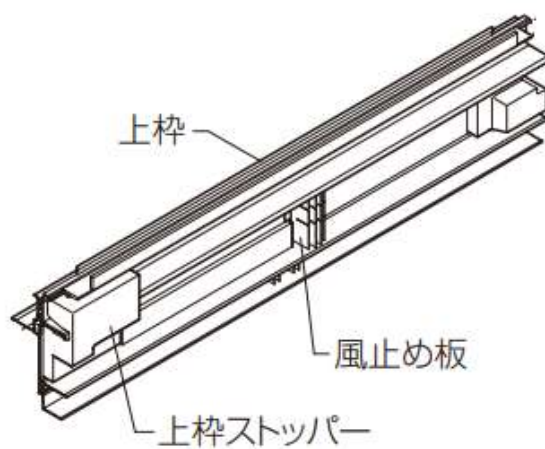


図 5．引違い上枠の部品付け例

<組立・出荷>

サッシメーカーでは、工場でガラスをはめ込まない状態でサッシを組み立て、出荷します。

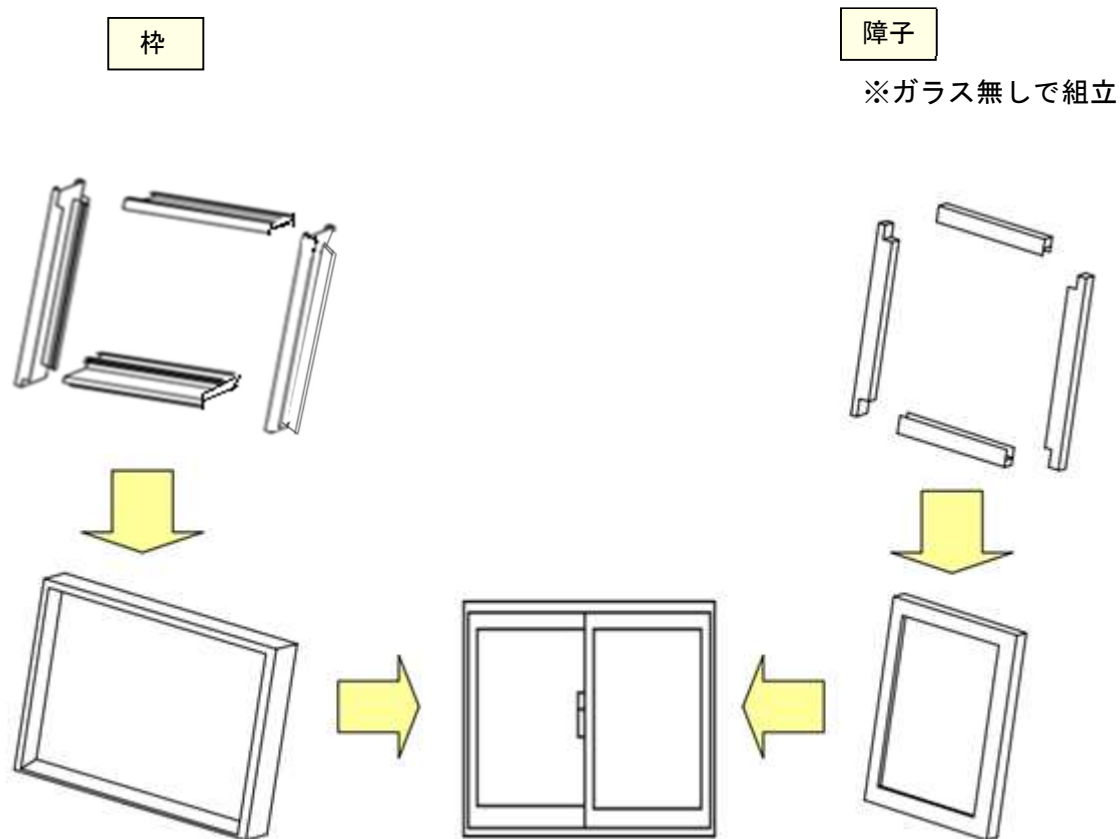


図6．サッシの組立

<サッシ枠の取付>

建築業者様は建物の開口部にサッシ枠をはめ込み、サッシ枠が水平・垂直になるように取り付けます。

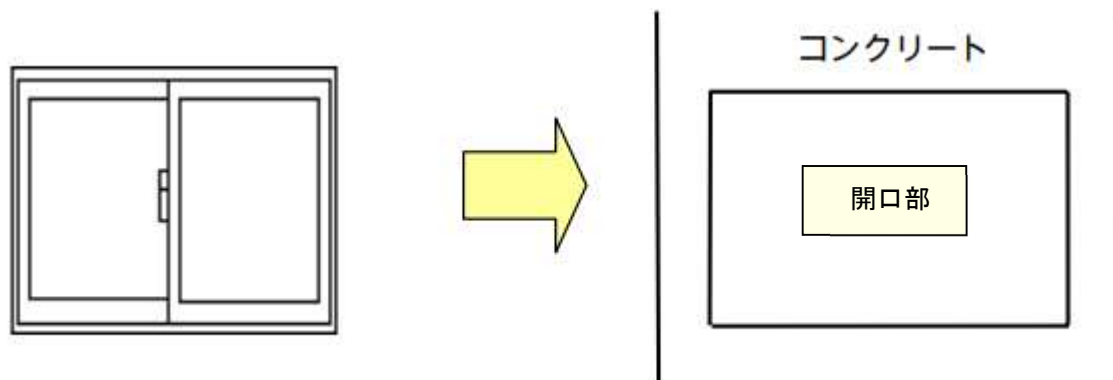


図7．サッシ枠の取付

<サッシ障子の取付・調整>

建築現場でサッシ障子をサッシ枠に建込み、戸車、クレセント（錠）、はずれ止めなどの調整をします。

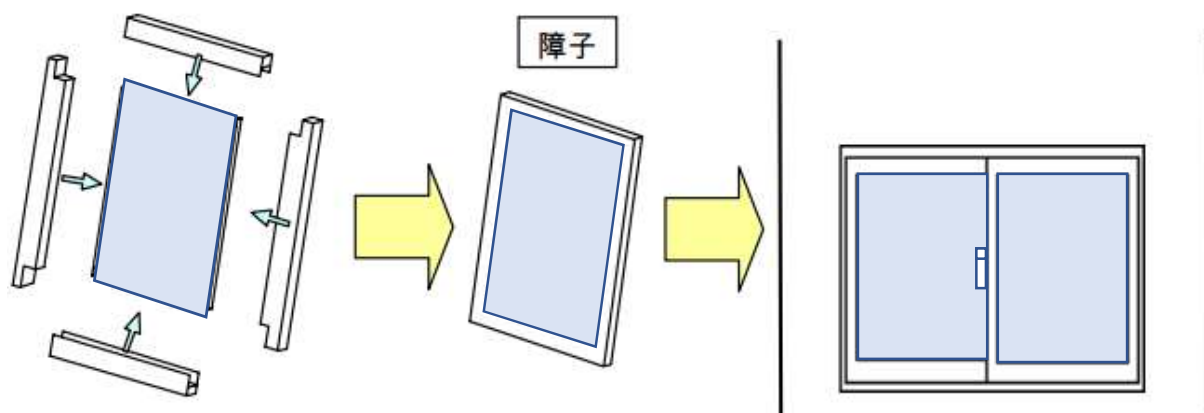


図 8．サッシ障子の取付、調整